

青少年体験・チャレンジ活動

様式1

No	1	中央公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	講義・実習	アトリエめいじゅ	実10160361 報10239734		
2	少年教室	講義	子ども能楽教室	実10165927 報10332044		
3	少年教室	講義・実習	中央公民館 書き初め塾 (※)	実10292681 報10370484		
4	少年教室	講義・実習	共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携事業 「クリスマスイベント」	実10282527 報10362450		
5	少年教室	講義・実習	共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携事業 2 「災害時クッキング」	実10309670 報10382937		
6	少年教室	講義・実習	共愛学園前橋国際大学短期大学部との連携事業 3 「行事食を作ろう」	実10334394 報10399580		
7	少年教室	講義・実習	こども能楽教室	実10165927 報10332044		

様式2-1

【事業の概要】

No	1	中央公民館		経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	中央公民館書初め塾						
ねらい	① 習字技術の向上 ② 世代間交流、集団学習を通りてのコミュニケーションの向上 ③ 公民館利用団体の学習の還元”						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	12月27日(金)		冬休みの課題である書初めのサポートしてもらい講座を開催。中央公民館利用団体を講師として迎え、日頃の活動を発揮してもらいとともに、参加者の習字技術の向上を目指す。			—	—
	10:00	12:00				中央公民館利用団体 (和翠会・香墨会・明窓漢字部)	
	50	27					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	学校の課題と世代間交流が一度の講座で両方が叶い、現代の多忙な小学生に向けた有意義な講座が開催できた
地域のニーズにこたえているか	○	こども能楽教室では、なかなか体験できないことを学校単位で開催できたため
企画・事前準備は十分であったか	◎	昨年と同様の内容であったため、反省点を活かしての講座が開催できた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートでの満足度の割合が高かったため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	公民館の利用団体が成果や活動を還元できる場の提供ができた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐるでの周知を本庁管内小学校に限定したため、参加者が限定的であった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見		
改善点	講師と参加者の距離が難しいところがあった。講師になかなか言いたいことが言えずにいる子もいて、参加者がどうしてほしいか探りながら進めていかないといけないと思った。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	参加者や講師、両者にとって有意義な講座なので、今後も継続していきたい。	

留意事項その他	
---------	--

	
書初め塾で完成した作品を手にした集合写真	講師から指導を受ける様子

様式1

No	2	上川淵公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	講義・実習	小学生まなび体験講座（※）	実10159203 報10262119 実10184051 報10262703		
2	少年教室	実習	農業体験ワークショップ（中止） 「上川淵の未来を育てる若者たち」	実10371809 報10431642 （中止）		

様式2-1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	24,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	小学生まなび体験講座							
ねらい	① 「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、時代の新たな担い手となる子どもたちの好奇心や生きる力を養う。 ② 心身ともに健やかに育つための学習する場を提供する。 ③ 子どもたちが仕事について考える機会とし、キャリア教育の一環とする							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月27日(土)		「真夏の夜のお話会」 夏の夜にふさわしい物語の朗読会。 (読み手は、地区住民をボランティアとして募集)			—	—	
	18:30	19:30				協力者 地区住民		
	30	47						
2	8月3日(土)		「薬剤師体験」 お菓子やジュースを薬剤に見立て調剤体験を行い、薬剤師の仕事を学ぶ。			7,500円	500円	
	10:00	11:30				日本調剤前橋日赤前薬局		
	15	14						
3	8月8日(木)		「涼しいところを探そう-自由研究にチャレンジ-」 身近な場所の気温を調べ、どのような工夫をすれば気温が変化するか学び、環境問題を考える。			—	—	
	10:00	12:00				環境カウンセラー 笹木 裕二		
	10	15						
4	8月25日(日)		「公民館で遊ぼう」 ①映画上映会 (10:00～11:40) 『ドルフィンブルーフジもう一度宙へ』上映 水族館の仕事を学べる内容として上映			—	—	
	10:00	11:40				職員対応		
	15	26						
5	8月25日(日)		「公民館で遊ぼう」 ②バルーンアート教室			—	—	
	13:30	15:00				群馬トヨペット 新井 弘子 (企業出前講座)		
	15	14						
6	8月27日(火)		「テレビの仕事を学ぶ～アナウンサー体験をしてみよう～」 テレビ朝日の出前講座を利用し、テレビ局で働く人たちについて学ぶ。			—	—	
	13:30	15:30				テレビ朝日広報局 お客様フロント部 田邊 美樹		
	30	26						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	環境問題を考える講座を通じて現代的課題に応えられたと考える
地域のニーズにこたえているか	○	地域の方が講師となり子どもたちと関わる講座を作ることができた
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師と綿密な打ち合わせを行ったことで、問題なく実施することができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果から、高い満足度をいただくことができたと考える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	小学生を対象としているため、学習成果の還元を評価することが難しい
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐるを活用し広く募集したことで、すぐに定員が埋まる結果となった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	自身の将来の仕事を考えるきっかけ作りとして様々な講座を実施した。子どもたちの学びたいことと、大人が学ばせたいことのギャップを感じることもあるが、子どもたちが地域で学ぶ楽しさを知ってもらえるような講座になったと考える。	
改善点	子どもたちに人気の高い講座を組み入れたため高い評価はいただけたが、講座が単発であったため、一つの内容を簡単に学ぶ程度にとどまってしまった。参加者が少なくなってしまうと、同じテーマで数回連続で行うなど、内容を深く学ぶ講座を取り入れる必要があると考える。	

次年度の事業継続の評価	拡充	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域社会と子どもをつなぐことができる重要な事業であるため、さらなる拡充が必要であると考ええる。	

留意事項等	
-------	--

	
薬剤師体験の様子	テレビ局の仕事を体験する様子

様式1

No	3	下川淵公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	下川淵こども体験教室（夏）（※）	実10160937 報10257075		
2	少年教室	実習	下川淵こども体験教室（冬） 「フォトフレーム作り」	実10308690 報10350240		
3	少年教室	実習	下川淵公民館クリスマスコンサート	実10318520 報10369442		
4	少年教室	実習	下川淵こども体験教室 牛乳パックで簡単カステラ作り	実10339483 報10369100		

様式2-1

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館		経費	63,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	下川淵こども体験教室（夏）						
ねらい	① 昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となるこどもたちの好奇心や生きる力を養うこと。 ② 地域の人材を活用し、知識の地域還元を図ること ③ こどもたちが学校とは異なる集団学習において、集中して学習する機会とし、自ら学ぶ姿勢を身につけること。						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（すぐる）			
回	月日		学習主題・内容		講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了			講師名		
	定員	参加者					
1	7月29日（月）・30日（火）		こども絵画教室		18,000円	—	
	9:00	12:00			岡 本 美由貴		
	20	17					
2	7月25日（木） 8月8日（木） 8月29日（木）		こども陶芸教室		21,000円	300円	
	10:00	12:00			下川淵陶芸クラブ		
	8	8					
3	8月5日（月）		こども薬剤師体験		15,000円	—	
	10:00	11:30			日本調剤前橋日赤前薬局		
	15	14					
4	8月27日（火）		テレビの仕事を学ぶ ～アナウンサーを体験してみよう～		—	—	
	13:30	15:30			テレビ朝日出前講座		
	30	27					
5	8月28日（水）		こども工作教室（ガーランド作り）		9,000円	500円	
	10:00/ 13:00	12:00/ 15:00			秋 山 泰 子		
	24	7					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	こどもの興味関心に応じた様々な種類の講座を実施した
地域のニーズにこたえているか	◎	ほとんどの講座で定員を上回る応募があり、抽選で参加者を決定した
企画・事前準備は十分であったか	◎	各講師と事前の打ち合わせを実施し、講座の趣旨を共有することができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果は全員が「とてもよかった・よかった」を選択した
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	学習成果は受講したこども本人に留まる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	今年度から利用が始まったすぐるを用いて、確実に周知を行うことができた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	連絡なしで当日不参加の家庭があったため、今後は講座数日前に申込者にリマインダーを送付するなど工夫し、キャンセル待ちの対応もきめ細やかに行うことで、多くの希望者に講座参加してもらえるようにしたい。	
改善点	感想・意見に同じ	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	夏休み全体を通して、様々な分野の講座を実施することができた。参加対象の学年も、講座の回を分けるなどしてなるべく拡充し、多くのこどもが公民館講座に参加できるよう工夫した。引き続き事業を継続したい。	

留意事項その他	講座周知から申し込み開始まで期間を設け、抽選制にしたことで、多くの家庭に講座を知ってもらうことができる。たくさんのこどもに講座を体験してもらうことで、公民館を身近に感じてもらえる。引き続き、夏休みの講座については抽選制を取り入れ、講師と協議の上参加可能人数を増やすことを検討する。
---------	--



陶芸教室で作成した作品



こども薬剤師体験の様子

様式1

No	4	芳賀公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	親子で新じゃが掘り体験	実10139305 報10212040		
2	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室「木工教室」(※)	実10193053 報10250918		
3	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室「絵画教室」	実10193053 報10250918		
4	少年教室	講義・実習	夏休みチャレンジ教室「水辺安全教室」 ～ライフジャケットで浮いてみよう！～	実10193053 報10250918		
5	少年教室	実習	冬休みチャレンジ教室「書初め教室」	実10317387 報10357772		

様式2-1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館		経費	6,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	芳賀公民館 夏休みチャレンジ教室「木工教室」						
ねらい	① 夏休みを利用して、学校や家庭とは違った環境で子ども達が集まる機会を設け、学年の枠を超えた交流を図る。 ② 体験や学習をとおり、集中力・自主性・豊かな感性を養う。						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（すぐーる）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	7月25日(木)		夏休みチャレンジ教室 木工教室「宝箱」づくり のこぎりや金づちなどの工具を使って、自分だけの木工の『宝箱』づくりにチャレンジしてみよう♪			6,000円	500円
	9:30	11:30				厚生労働省ものづくりマイスター 星野家具 星野 弘	
	16	13					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	木の温もりを感じ、こども達が「自分の手でつくる」体験が大切である
地域のニーズにこたえているか	○	家庭や個人ではできない体験ができるので地域社会にあっていていると思う
企画・事前準備は十分であったか	○	講師と事前に打合せを実施し、講座の趣旨を共有することができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	作成中の様子やアンケート結果から、こども達の満足の様子がうかがえた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	夏休みの宿題の手伝いの一環のため、保護者から好評をいただいている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報・HP及びすぐるを活用し、公民館内にチラシを貼り周知を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	・普段使ったことのない工具に戸惑いながら、電動ドリルで取手に穴を開けたり、ノコギリで箱の底足を切って作ったり、金づちでくぎを打って留めたり、自分でつくることに取り組んでいた。 ・講師とアシスタントが充実しており、高度な技術を要する作業も親切で丁寧なサポートがあり、低学年でも楽しく安全に活動でき作品の完成度も高かった。	
改善点	・人数を増やせるとたくさんのこどもが学べるが、部屋の収納の関係で難しいところである。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	アンケート結果が、木工教室に参加して「とてもよかった」と回答した参加者が13人中10人、「よかった」と回答した参加者が2人で、参加者にとって非常に満足度の高い教室であったことから次年度もぜひ開催したい。	

その留意事項等	・材料費として500円の実費を徴収（講師の星野先生が徴収）
---------	-------------------------------

	
宝箱の本体部分を作る様子	電動ドリルで蓋の穴をあけてる様子

様式 1

No	5	桂萱公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	講義・実習	桂萱サマーチャレンジスクール（※）	実10199040 報10302801		
2	育成 インリーダー 研修	講義・実習	インリーダー・育成指導者講習会	実10163187 報10219095		
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館	経費	71,600円			
事業名	青少年体験・チャレンジ活動		講座区分	少年教室			
講座名	桂萱サマーチャレンジスクール						
ねらい	① 夏休みの間に、子ども達が様々な体験を通して、主体的に学ぶ機会とする。 ② 共同で学習や作業することで社会性を身につける。 ③ 学校や学年を超えた交流や仲間づくりを図る。 ④ 講師に自主学習グループの会員等を活用し、子ども達と地域の大人たちとの交流を図る。						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他 ()			
回	月 日		学習主題・内容	講師謝礼金 実費負担金額			
	開始	終了		講師名			
	定員	参加者					
1	7月22日(月)・23日(火)		「夏の絵画教室」 ポイントを学びながら、水彩画やポスターを描き、色を塗って仕上げる。 1日目(7/22) 下絵、2日目(7/23) 色塗り	9,600円	—		
	9:30	11:30		桂萱学習グループ 「桂の会」			
	50	延べ93					
2	7月26日(金)		「七宝焼に挑戦！」 七宝焼でキーホルダーを作ることにより、伝統工芸を体験する。	10,000円	700円		
	10:00	12:00		桂萱学習グループ 「桂萱七宝クラブ」			
	20	20					
3	7月29日(月)		「はじめてのプログラミング」 学校配付のタブレットを使って、「スクラッチ」(アプリ)で作品を作成しながらプログラミングについて学ぶ。	12,000円	300円		
	9:30	11:30		NP0教育支援協会北関東 スタッフ2名			
	30	29					
4	7月30日(火)		「夏の書道教室」 「とめ」「はね」「はらい」を中心に書道の基本を学び、自らが書きたい文字を書きながら実践して学習を深める。	10,000円	—		
	10:00	11:30		桂萱学習グループ 「式部の会」			
	40	39					
5	7月31日(水)		「陶芸に挑戦！」(午前の部) 粘土をこねて、お皿やカップ等の器作りを体験する。	10,000円	600円		
	10:00	11:30		桂萱学習グループ 「楽陶クラブ」			
	20	19					
6	7月31日(水)		「陶芸に挑戦！」(午後の部) 粘土をこねて、お皿やカップ等の器作りを体験する。	10,000円	600円		
	13:00	14:30		桂萱学習グループ 「楽陶クラブ」			
	20	19					
7	8月2日(金)		「わくわくクッキング」 軽食の作り方を学び、夏休み(長期休暇)の食事作りに生かす。	10,000円	500円		
	10:00	12:00		桂萱地区 食生活改善推進委員会			
	24	23					
8	8月8日(木)		「心の教室」 悩みを相談できること知り、自殺防止につなげる。	—	—		
	9:30	10:00		保健予防課職員			
	24	23					
9	8月8日(木)		「サイエンスクッキング」 調理を通して、科学の不思議も学習。	—	200円		
	10:00	11:30		共愛学園前橋国際大学 短期大学部職員			
	24	23					
10	7/20・27, 8/3・10・24・31		「囲碁将棋教室」 囲碁や将棋の仕組みを学び、実際に対戦しながら学びを深める。	—	—		
	9:00	11:30		桂萱学習グループ 「桂萱囲碁将棋クラブ」			
	—	延べ96					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	子どもへの対応が注目される「科学」「食事」「メンタルのケア」を取り入れている
地域のニーズにこたえているか	○	関心が高い夏休み講座を開催、講師に地域人材を活用
企画・事前準備は十分であったか	○	初めての分野も事前に開催準備対応
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果より、概ね高いことがうかがえる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講師と受講生の交流促進
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	定員を上回る申し込みがあった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	継続開催を希望する受講生と保護者が多いため、来年度も準備して同規模の開催を維持したい。例年、申し込み多数で抽選となる講座が多いが、保護者の雇用形態（勤務時間帯）が様々であるため、窓口・電話・電子申請を活用する方法を続けて対応していく。	
改善点	内容の大幅な変更は期待されていないため、料理教室のメニューを変更する等の小さな変更にとどめたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	当地区では夏休みは図書室利用を含め、公民館へ通うことが小中学生に定着しており、保護者を含め需要があるため、同規模で継続開催。	

その他留意事項	運営補助ボランティアとして、中高生、大学生、専門学校生の協力（参加数30名、延べ47名） 「8」心の教室は、小学生の保護者の受講あり（親子で受講：1組）
---------	---



「囲碁将棋教室」対局の様子



焼き上がったピザを切り分ける様子

様式1

No	6	東公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	育成 インリーダー 研修	実習	東地区育成指導者講習会	実10113227 報10151400		
2	育成 インリーダー 研修	講義・ 実習	インリーダー講習会（※）	実10172100 報10225625		
3	少年教室	実習	楽しいリサイクル工作 「キュービックパズルを作ろう」	実10202270 報10214029		
4	少年教室	実習	こども将棋教室	実10202270 報10212506		
5	少年教室	実習	絵画教室	実10202270 報10249469		
6	少年教室	実習	バルーンアート教室	実10202270 報10249860		

様式2-1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	育成・インリーダー研修		
講座名	インリーダー講習会							
ねらい	① 小学校5，6年生を対象に共同生活を通じて、団体活動を経験するとともに、子ども会リーダーとしての資質の向上を図ることを目指します。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月13日(土)		マイ・タイムライン講座 地震体験車訓練			—	—	
	9:00	11:30				市防災危機管理課職員		
		73						

【事業の評価】

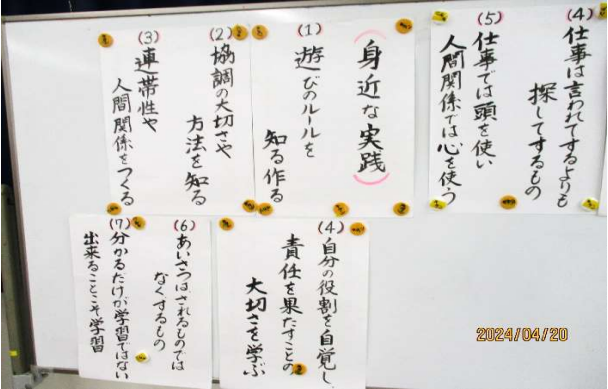
評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	地域や育成会活動を円滑にできるような内容でした
地域のニーズにこたえているか	◎	楽しく大切なことを学べたと喜んでいただいた
企画・事前準備は十分であったか	◎	周囲の協力で進めることが出来た
学習者の満足度はどうであったか	◎	大変満足度が高く、好評であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	これからの活動の不安は取り除けたと思う
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	育成会を通じて回覧で行っているため周知は出来ている

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	50
---	-----	----

事業の総合評価	A	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	①育成指導者講習会では、命を守る安全教育として話され、KYTシートを使ってどこが危険科、注意点等を受講生に投げかけ考えながら学ぶことが出来た。また、育成会役員は育成会でのレクの進め方や遊び方を考えながら学びました。とても喜んでいただいて私も嬉しく思った。 ②インリーダー講習会では、近年、震災や前橋でも地震が多く、自分の地区や身近な建物、河川等の把握の仕方、台風等の接近により、雨風が強くなる前に自分のとるべき行動や事前の準備についてクイズを交えて楽しく学ぶことが出来て良かったと思う。	
改善点	①毎年1時間半の研修時間だったが、とても楽しく学べて、時間を忘れるくらいだったので、講師にお願いして2時間の学習にいただいた。準備があるので、時間を早める事はできないが、12時には終わらせるよう努めたい。 ②インリーダー講習会では、基本的に火の取り扱いを学んだり、KYT講習会を行っていた。しかし、今年度は役員会議で防災について学んだ。とても内容が良かったが、火を直接取り扱うことも最近、日常ではあまりないので、役員とも相談して決めていきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	育成会役員は1年で変わるため、レクの進め方や、子どもも同様にKYT講習会を受けて頂く必要があります。なかなか、自分では学習も出来ないことで、参加者同士の交流も図ることが出来るので、育成会役員の不安も少しは解消できる事も期待している。一人で参加しても楽しめるようになっているので今後も続けていきたい。同じく、子どものインリーダー講習会も5、6年生が2年連続で参加したいと思えるように続けていきたい。	

留意事項その他	コロナ前の活動と異なり、とても制約が多くなり活動も大変になってきた。また、保護者の働き方も変わってきており、今までの子ども会の活動も変化しつつある。昔の考え方と今の人の考え方が少しずつ異なっているため、調整しつつ地区を守るため役員や子どもを支えていきたい。
---------	--

	
子ども会活動の心得	じゃんけんゲーム

様式1

No	7	元総社公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	講義	お天気教室（※） （NHK前橋放送局・前橋市立元総社南小学校連携事業）	実10161310 報10183720		
2	少年教室	講義・実習	元総社少年教室	実10598283 報10261272		
3	少年教室	実習	受験生応援！元総社学習室	実10598284 報10350269		
4	少年教室	講義	えほんのあいね。のえほん読み聞かせ	実10598285 報10438741		
5	少年教室	講義・実習	プレイルーム元総社 第1回 『スポーツチャンバラ教室』	実10170414 報10209441		
6	少年教室	講義・実習	プレイルーム元総社 第2回 『こども電気教室～レモン電池～』	実10170414 報10237392		
7	少年教室	実習	プレイルーム元総社 第3回 『タオル犬・アヒルづくり教室』	実10170414 報10349972		
8	少年教室	講義・実習	プレイルーム元総社 第4回 『けん玉教室』	実10170414 報10365609		
9	少年教室	講義・実習	プレイルーム元総社 第5回 『フクロウ教室』	実10170414 報10417367		

様式2-1

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	お天気教室（NHK前橋放送局・前橋市立元総社南小学校連携事業）							
ねらい	① 天気の変化及び台風について復習及び予習し、専門家からの説明によってその知識の定着及び深化させる。 ② 気象災害や防災に関することを勉強し、各家庭において防災に対する備えを確認するなど学びのアウトプットにつなげる。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	5月22日（水）		5年生単元「天気」「台風」 ・気象予報士について ・積乱雲・雨・台風・土砂災害の説明 ・防災対策（食べ物の備蓄など）の説明 ・防災クイズ				—	—
	11:35	12:20					気象予報士・防災士 新村 美里 氏	
	34	34						

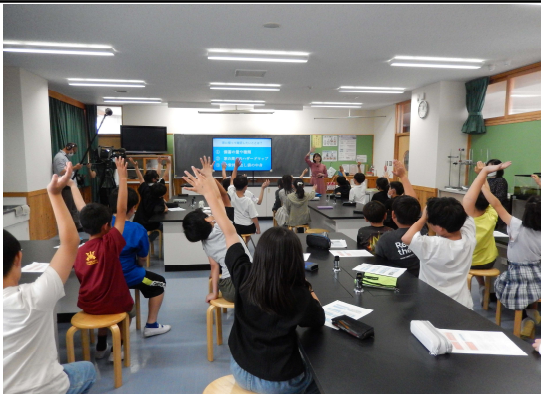
【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	激甚化する自然災害について、スライドを使って学んだ
地域のニーズにこたえているか	◎	群馬県でも自然災害により、甚大な被害が出ているということを学んだ
企画・事前準備は十分であったか	◎	授業の一環として実施できるよう関係者と密に連絡を取り合い、打ち合わせを行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートからすべての児童が、授業が楽しかったと回答し、天気の意味も深められていることがわかった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	授業で学んだことを両親に伝えたいという感想から、一定程度、学んだことの還元ができた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	■	受講生が特定されているため、周知を行っていない
※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める		平均点 45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	初めて、外部の機関との連携による講座を開催することができた。学校の授業内容とリンクして講座の組み立てを行うことができ、児童は既に学んだことをより深く理解することができたと感じた。気象・防災の専門家によるスライドによるわかりやすい説明を受け、児童たちは積極的に授業に参加しており、一度も退屈そうにせず最後まで集中して授業を受けているのが印象的だった。アンケート結果から高い満足度を得ることができており、実施してよかったと感じた。	
改善点	初めての試みだったこともあり、企画から実施までに長い時間を要した。今回のノウハウを元に、児童・生徒の授業内容や進捗を把握し、打ち合わせの段階からそれにあった講座を計画することが求められると感じた。また、実施の日程等の調整に苦慮したことから、早い段階で日程等が決められるように密な連携が必要になると思われる。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「廃止」で評価
主な理由等	今回は児童にとって大きな勉強となり、学んだことを両親などに伝えたいという感想が聞かれたことから、実施する意義を感じた。また、「地域学校協働活動」の一環として、回数は少なくとも講座が開催できるよう、学校や関係機関との平時からの連携を密にしていきたい。	

留意事項等	
-------	--

	
スライドを使って説明する新村先生	挙手をする児童たち

様式 1

No	8	総社公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	おやこ料理教室	実10201417 報10254635		
2	少年教室	講義・ 実習	夏休みの宿題～絵画を仕上げよう①～	実10201417 報10254635		
3	少年教室	実習	こども料理教室（※）	実10201417 報10254635		
4	少年教室	講義・ 実習	夏休みの宿題～絵画を仕上げよう②～	実10201417 報10254635		
5	少年教室	講義・ 実習	夏休みの宿題～読書感想文を仕上げよう～	実10201417 報10254635		
6	少年教室	講義	寺子屋スロー数学	実10201417 報10254635		
7	少年教室	講義	こわいおはなしの会	実10201417 報10254635		
8	少年教室	講義・ 実習	書初め教室（3・5年生）	実10326614 報10366553		
9	少年教室	講義・ 実習	書初め教室（4・6年生）	実10326614 報10366553		
10	少年教室	講義・ 実習	留学生と交流しよう	実10379265 報10418171		
11	指導者講習会 インリーダー講習会	講義・ 実習	初級指導者講習会・カレー作り	実10384720 報10427148		
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	8	総社公民館		経費		9,000円	
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分		少年教室	
講座名	こども料理教室						
ねらい	① 年齢や学校を超えた仲間づくりを進めるとともに、コミュニケーション力の向上を図る。 ② 学校とは異なる集団学習において、自己の考え方や工夫する力を育む。 ③ 様々な体験を通して、興味や関心の幅を広げる。						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐーる）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金
	開始 定員	終了 参加者				講師名	
1	8月7日(水)		こども料理教室 対象：5～6年生 ピザ、野菜サラダ、フルーツゼリーの調理			9,000円	—
	10:00	12:30	総社地区 食生活改善推進員会				
	12	12					
2							
3							
4							
5							
6							
7							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	夏休み期間に行う講座を前年より多く開催した
地域のニーズにこたえているか	○	次回を望む声があった
企画・事前準備は十分であったか	◎	応募者多数となり、抽選が行われた
学習者の満足度はどうであったか	○	次回を望む声があった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	応募者多数となり、抽選が行われた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	コロナ対策により、しばらく行っていなかった料理体験の講座を開催した。応募者多数となり抽選が行われるほど人気の講座となった。体験した小学生の反応も良好で、次回を望む声が聞けた。一方、抽選で落ちてしまう子がでたため、コマ数を増やすなど検討が必要だと思った。	
改善点	抽選で落ちてしまった子への対策の検討。 コマ数、開催数を増やすなど検討。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	次回を望む声が多く上がっていること。 抽選で落ちる子が出てしまったこと。 多くの学生に公民連携で行う講座を体験してもらえ環境を作る。	

留意事項等 その他	
--------------	--

	
包丁を使う様子	ピザ生地制作の様子

様式1

No	9	南橋公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	竹の皮で花かごを編む	実10192640 報10267568		
2	少年教室	実習	竹の弓矢を作って遊ぶ（※）	実10192640 報10267568		
3	少年教室	実習	バニーズの選手によるサッカー教室①	実10192640 報10267568		
4	少年教室	実習	バニーズの選手によるサッカー教室②	実10192640 報10267568		
5	少年教室	講義・実習	宇宙のおはなし&星空天体観望	実10331513 報10365247		
6	少年教室	実習	トーンチャイムを演奏しよう (クリスマスソングなど)	実10331513 報10365247		

様式2-1

【事業の概要】

No	9	南橋公民館			経費	6,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	竹の弓矢を作って遊ぶ							
ねらい	① 身近な植物である竹の活用について学ぶ。 ② 一本の竹から一連の作業（切る・割く・削る・穴をあける・弦を張る・矢をつくる）を経て、弓矢を完成させる体験をする。 ③ 完成させた弓矢を上手く飛ばす工夫を経ながら、参加者同士で一緒に楽しむ体験をする。 ④ 保護者の参加も可として、親子で工作・遊びを楽しむ体験の場とする。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他	（ ）			
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	7月24日(水)		竹の弓矢を作って遊ぶ ・竹について学ぶ（竹害→竹財、生活における竹利用の具体例） ・様々な工具（ノコギリ、ナタ、木工ナイフ、電動ドリル、ヤスリ等）を使って竹から弓矢を制作 ・作った竹弓矢で的あて競技をして遊ぶ				6,000円	—
	13:00	15:00					木工コーディネーター 山田 裕久	
	25組	24組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	竹林の荒廃（竹害）が社会問題となる中、身近な天然資源である竹の活用についての学習体験。スマホゲームを離れて、五感を使ったリアルな体験実習の場を提供できた
地域のニーズにこたえているか	◎	募集開始後30分以内に応募数が定員に達しており、竹・弓矢や工作実習についてのニーズが感じられた
企画・事前準備は十分であったか	○	講師は竹工作や木工を教える実績が豊富にあり、事前の打合せやメールのやり取りで安全面についても十分確認した
学習者の満足度はどうであったか	◎	竹の工作作業も、完成した弓矢による的あて遊びも、時間超過になっても熱心に続けているほどで、十分に楽しめている様子だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	何組かの保護者が講師のインスタグラムを登録したりしていたが、グループ化までは至らなかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	今回は「すぐーる」で保護者宛に募集チラシを配信しただけであったが、十分応募いただけた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	講師は教室の最初と最後に2、3分ずつパワーポイントで竹害（竹利用が減り管理が行き届かない荒廃竹林の増加問題）と竹利用の具体例（工芸品、生活雑貨、玩具、節食用、流しそうめん等）について写真資料を交えての解説も加えてくれたので、参加者にとっては、工作と弓矢遊びに使用した竹について身近な竹林と結びつけて考えてみる機会にもなった。講師は教員、ネイチャーガイド等の経験があり、多数の参加者に対してのわかり易く的確な説明・指導に長けていたので、複数種類の工具を使用する実習ではあったが、安全に怪我なく実施することができた。	
改善点	当初予想では応募者を少なく見積もっていたため、募集で使った「すぐーる」の配信先を最初から市内全域小学校保護者宛にしてしまった。その結果として南橋地区内小学校からの応募者数が全体2割にとどまった。今後「すぐーる」で配信する場合、初回は地区内小学校に配信先を限定し、応募者が少ない場合にのみ地区外の小学校にも配信先を広げることとしたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	・身近な地域資源の活用についての意識付け ・複数種類の工具利用工程を経て竹から弓矢を完成させる作業体験 ・自分が作り上げた道具を使つての競技遊び体験 ・保護者も参加可としており、親子協同による作業体験も可能 本講座は、上記に挙げるような複数側面の学習体験要素を備えており、スマホ等バーチャル体験優位の児童に自然・身体（五感）を用いた体験学習機会を提供できる。	

留意事項等 その他	
--------------	--

	
最初に、親子協力してノコギリで竹を切る	自作の竹弓矢を使つて的あて競技で遊ぶ

様式 1

No	10	清里公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	講義・実習	宿題の絵を公民館で仕上げよう！①②③	実10175767 報 —		
2	少年教室	講義・実習	おやこで楽しくバルーンアート！	実10175767 報 —		
3	少年教室	講義・実習	プログラミング体験 ゲームを作って楽しもう！①	実10175767 報10265116		
4	少年教室	講義・実習	プログラミング体験 ゲームを作って楽しもう！②	実10175767 報10265116		
5	少年教室	講義・実習	おやこで楽しいクッキング！（※）	実10175767 報10265464		
6	少年教室	研修	レッツ・ウインズ！ 清里公民館コンサート	実10175767 報 —		
7	少年教室	実習	宿題の書道を公民館で仕上げよう！	実10175767 報 —		
8	少年教室	研修	夏休みアニメ上映会！	実10175767 報 —		
9	少年教室	講義・実習	さくらもち作り教室	実10383794 報10428130		
10	少年教室	講義・実習	清里公民館インターンシップ	実10203391 報 —		
11						
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	10	清里公民館		経費		10,500円	
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分		少年教室	
講座名	おやこで楽しいクッキング！						
ねらい	① 参加者が学校や世代を越えて交流することによって社会性と地域愛を育む機会とする。 ② 体験活動を通して、参加者の興味や関心の幅を広げ、学習内容に応じたさまざまなスキルアップを図る。						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他 ()			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	8月17日(土)		親子料理教室 参加人数：19名、小学生とその保護者 ・減塩講座 ・野菜たっぷりスープカレー、3色ナムル、フルーツヨーグルトの調理			10,500円	500円
	9:30	13:00				清里地区 食生活改善推進委員会	
	10組	8組					
2							
3							
4							
5							
6							
7							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	夏休み期間におやこで楽しく学べる体験の機会を提供することができた
地域のニーズにこたえているか	◎	地域団体を講師に起用し、親子で参加することにより、充実した世代間交流のニーズに応えることができた
企画・事前準備は十分であったか	○	親子が楽しい夏休みの思い出作りをできるように企画するとともに講師と綿密な打合せを行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	家に帰っても作りたい、また参加したいとの声があり、満足度の高い講座だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	活動中の学習グループ会員の参加もあり、こどものお手伝いや家庭料理のレパートリーの充実に貢献できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	学校へのチラシ配布依頼や館報掲載、すぐる配信を行い、十分な参加人数を確保できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	参加者募集時に定員超過し、5台の調理台をフル活用して全員受け入れて実施としていたが、コロナや夏風邪が流行し、結果3組欠席となったため、例年通り調理台4台で実施する運びとなった。食改推と参加者との世代間交流、地域住民のコミュニケーションを深める良い機会として、今後も、継続していきたい。	
改善点	当日欠席者もあり、材料費を当日徴収しており、講師謝礼など食改推の経費で負担していただいている。材料を地元農家から無償提供いただけるものがあれば、負担軽減となるとともに、そういったものを利用すれば地域の農産物の学びにもなり、より充実した学習になると思われる。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	調理実習室のキャパシティも考慮し、現状の規模で最大の状況と思われるので、現状維持で継続することが良いと思われる。	

留意事項等	
-------	--

	
減塩について講義	調理を通じた世代間交流

様式1

No	11	永明公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	夏休み子どもステーション 「お料理教室」 ①いっしょに作ろう編 ②一人でチャレンジ編 ③親子でチャレンジ編	実10196427 報10272062		
2	少年教室	講義・実習	夏休み子どもステーション 「やってみよう！プログラミング」 ①ヴィスケット入門編 ②スクラッチ入門編	実10196427 報10272062		
3	少年教室	実習	夏休み子どもステーション 「水彩画教室～色ぬりをしよう～」 2回実施	実10196427 報10272062		
4	少年教室	講義	夏休み子どもステーション 「真夏の夜のこわ～いお話会」	実10196427 報10272062		
5	少年教室	講義・実習	「テレビの仕事を学ぶ」 ～アナウンサーを体験してみよう～	実10195126 報10296863		
6	少年教室	実習	冬の子どもステーション 「新春 昔遊びにチャレンジしよう」 「けん玉で楽しく遊ぼう」	実10335946 報10388432		
7	少年教室	実習	冬の子どもステーション 「新春 昔遊びにチャレンジしよう」 「和風を作って大空へ揚げよう」(※)	実10335946 報10388432		

様式2-1

【事業の概要】

No	11	永明公民館			経費	¥6,000		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	新春＊昔遊びにチャレンジしよう「和風を作って大空へ揚げよう」							
ねらい	① 昔遊びとして伝わる日本の伝統遊びを、季節を感じながら体験する。 ② 現代の子ども達の主流となっている遊び（ゲーム機等）ではなく、手先等を使い制作した手作り遊具の楽しさを体験する。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他	(情報配信「すぐる」)			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	1月19日(日)		和風 「ダイヤ風」 ①風作り ・事前に和紙を配付し、各自で絵付けをしておく。 ・当日、和紙へ骨組みや糸等を付けて完成。 ・風についてポイントを説明(制作、最適な屋外環境等) ②風揚げ実習 ・風向き、横糸の張り具合などを調節しながらあげる。			6,000円	600円	
	9:30	11:30				三橋 明彦		
	20	19						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	素材の特徴を生かしながら、工夫を加えた手作り遊具。昔遊びを体験
地域のニーズにこたえているか	○	子どもの体験活動を充実させる
企画・事前準備は十分であったか	○	講師との事前調整及び会場の調整を細やかにおこなえた
学習者の満足度はどうであったか	◎	受講者アンケート結果から、好評価が寄せられた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	屋外の遊びの良さを実感する
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	紙面とデータおよび直接呼びかけた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	・和風を材料から組み立てる手作りの良さ、難しさ、そして成果物を使ってみる楽しさを、実感できる内容だった。同伴の大人も初めての凧作りのようで、講師のアドバイスを熱心に聞き入っていた。家庭において、なかなかチャレンジできないことが、公民館へ行くと体験できる。そのような魅力のある内容を今後も企画したい。	
改善点	・内容が偏らぬよう、さまざまな分野の講師情報を得て、体験活動の幅をひろげる。 ・講座内容について、わかりやすく魅力的な周知をおこなう。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	・子どもの個性が発揮できる、様々な体験の機会をつくる。 ・地域の大人が講師となって、体験活動のお手本を見せる。地域講師が子どもたちを育むような、世代間交流の場を継続していく。	

留意事項等 その他	
--------------	--

	
凧が仕上がりました。絵付けもうまくできました！	中学校のグラウンドにて、高く揚げられました。

様式1

No	12	城南公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	講義・実習	音楽物語・14「PINOCCHIO」 (※)	実10199967 報10247427		
2	少年教室	実習	マインクラフトで学ぶプログラミング講座	実10325506 報10391610		
3	少年教室	実習	練り切りをつくろう！	実10325506 報10391610		
4	少年教室	講義・実習	三世代防災体験会	実10358467 報10402991		

様式2-1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	18,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	音楽物語・14「PINOCCHIO」							
ねらい	① プロの演奏家によるコンサートを通じて、子どもの可能性を発見する機会とする。 ② 音楽と朗読を生で聞くことにより想像力を育む。 ③ バイオリンとビオラの聴き比べの体験を通じて、多岐にわたる価値観を培う。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月3日(土)		・音楽と大きな紙芝居による朗読「PINOCCHIO」 ・バイオリンとビオラを聴き比べて見よう。			18,000円	—	
	10:30	12:00				・群馬交響楽団元楽団員 ビオラ奏者 井桁 正樹 ・ピアニスト 峰岸 小織		
	70	34						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	プロによる弦楽器やピアノの生演奏を聞く機会を身近に提供する
地域のニーズにこたえているか	○	平成28年度が初回で、地域に定着している講座である
企画・事前準備は十分であったか	○	2部構成で内容を検討している
学習者の満足度はどうであったか	◎	保護者を含め児童とも満足の回答が多数を占めた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	保護者にリフレッシュする機会を提供するとともに、児童の想像力を育む力を醸成する一助となった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	インターネット等を利用した周知が足りなかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	当日は地区内外でイベントの開催が重なった影響や周知が足りなかった面もあり参加者が少なかったが、参加した児童や保護者からも「大人も楽しめた。勉強になった。」とほぼ好評であり、目の前で展開する紙芝居の朗読やピアノ、バイオリン、ビオラの生の演奏に接したことで、児童にとっても音楽や絵、朗読に対する新たな価値観を感じ取ってもらえたと思う。	
改善点	開催時期、実施方法や周知方法について、今後検討していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	平成年度から毎年継続実施されている城南公民館独自の講座であるため、講師等の都合が折り合う限り継続することとしたい。	

留意事項その他	
---------	--



第一部 音楽と朗読と大きな紙芝居



第二部 ワークショップ

様式1

No	13	大胡公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	赤城山ろく里山学校（※） 「親子じゃがいも掘り体験」	実10152276 報10212498		
2	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室 サイエンス教室「ロケットとブーメランを作って飛ばそう！」	実10191298 報10236942		
3	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室 ディンプルアート体験教室「地球にいいこと♪あなたにもできる楽しいSDG s 活動」	実10191298 報10250154		
4	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室 木工教室「自分だけの町を作ろう！」	実10191298 報10255565		
5	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室 おやこの食育教室「食育を学び、野菜たっぷりスープカレー、3色ナムル、フルーツヨーグルトを作ります！」	実10191298 報10260330		
6	少年教室	実習	赤城山ろく里山学校 「季節の星空観察」 ※天候不良のため中止	実10320104 報10359824		

様式2-1

【事業の概要】

No	13	大胡公民館		経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	赤城山ろく里山学校「親子じゃがいも掘り体験」						
ねらい	① 赤城山ろくでの収穫体験を通して、自然に親しみ、地域の方との交流の中でふるさとへの誇りと愛着の心を育む。 ② 自然体験活動を異年齢のこどもや地域団体が共同で行うことで、世代・地域間交流の推進を図る。 ③ 収穫体験を通して野菜や食材の成り方を学び、実際に家庭で料理して食べることで、食への興味・関心を高める。						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☒ その他（すぐーる配信）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始 定員	終了 参加者				講師名	
1	6月30日(日)		親子じゃがいも掘り体験			—	100円
	9:00	10:10				大胡地区 地域づくり推進委員会	
	15組	14組					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	異年齢との交流、地域への興味・関心を高めるための体験機会の提供
地域のニーズにこたえているか	○	地域交流の場の提供、体験型・親子参加型の講座実施
企画・事前準備は十分であったか	○	講座内容や事前準備も講師と相談・調整のうえ実施
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果から判断
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	地域団体との共催事業、地域団体を講師に活用
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	すぐる配信のほか、公民館報やHPへの掲載

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	昨年同様多数の参加があり、じゃがいもの収穫量も適量で参加者は収穫を楽しむことができた。収穫に至るまで管理いただいた地域づくりの役員さんには本当に感謝したい。こどもたちが自分の目で見て土や虫に触れることによって、自然を感じ、じゃがいもの色や形、匂いなどを知る機会を提供することができ、自分で掘ったじゃがいもを家庭で食べることで、食への興味・関心を高めるきっかけづくりとなった。	
改善点	雨天等に備えて予備日を設定しているが、万が一予備日も実施できなかった場合の対応について、共催である地域づくり推進委員会と協議しておく必要がある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	収穫したじゃがいもをいただいたり、地域の方との交流を通して、こどもたちの感謝の気持ちや地元への愛着の心を育むため。また、自然体験活動を通して、こどもたちの主体性を高め生きる力を育むため。	

留意事項等	
-------	--



親子じゃがいも掘り体験の様子



親子じゃがいも掘り体験の様子

様式1

No	14	宮城公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	実習	夏休みチャレンジ教室（※）	実10201440 報10251778		
2	少年教室	実習	青少年チャレンジ教室「親子でしめ縄かざりを作ろう」	実10296045 報10338731		

様式2-1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	21,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	宮城公民館 夏休みチャレンジ教室							
ねらい	① 体験学習を通して、子どもたちの創意工夫する力を養う。 ② 異学年交流をし、社会性を身につける。 ③ 親子で協力することで、心豊かな親子関係を築く。 ④ 人権意識の向上や郷土愛を育む。 ⑤ 地元講師による学びの還元を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月26日(金)		人権ミニ教室「こころの教室」 ～こころの元気を保つコツ～			—	—	
	14:00	14:20				前橋市保健予防課 こころの健康係職員		
	0:00	26						
2	7月26日(金)		日本画体験教室 「金箔を使って木製キーホルダーをつくろう」			9,000円	—	
	14:30	16:00				地元出身日本画家 須藤 和之		
	20	20						
3	8月6日(火)・8月8日(木)		おやこの食育教室 「親子で楽しくクッキング！野菜たっぷりスープカレー」			—	300円/1組	
	10:00	12:00				宮城地区 食生活改善推進員会		
	親子8組	8人/13人						
4	8月7日(水)		おやこの木工教室 「夏の夜をやさしく照らす 竹の灯籠づくり」			6,000円	—	
	9:30	11:30				地元講師 石橋 一紘		
	親子4組	8						
5	8月20日(火)		工作教室 「新聞紙でつくろう！かぶって遊べるキャラクターマスク」			6,000円	—	
	14:00	16:00				地元講師 三橋 明彦		
	20	17						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	人権について身構えずに自分事として考えてもらうため、人気の講座の前半に短時間の人権教室を組み込んだ
地域のニーズにこたえているか	○	昨年度のアンケート結果を考慮しながらプログラムを構成した
企画・事前準備は十分であったか	○	講師とも打ち合わせをしながら当日はスムーズに運営出来た
学習者の満足度はどうであったか	◎	どの講座も満足度が高く、「楽しかった、またやりたい」という意見が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講師は地元の方に依頼した。学習内容は家庭や地域でも活かせる内容であった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	H Pでの周知により地区外からの参加もあった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	・材料費の一部を青少健が負担したことで、受講生の負担が少なく参加しやすい講座となった。 ・今回は人権教室を保健予防課と連携し開催したが、庁内の横の繋がりを活かして様々な分野の教育（体験）講座を企画することで相乗効果が生まれ室の高い内容が期待される。	
改善点	・対象が親子の講座は保護者が参加しやすい日程を研究するとともに、夏休み期間中の開催であるため祖父母との参加も歓迎していることをPRする。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	夏休み期間を利用して開催するチャレンジ教室は、公民館の講座として定着しており毎年参加する子どもも一定数いる。地元講師陣も前向きに協力してくださり子どもたちの未来にプラスになる知識を教えていただいている。	

留意事項等	
-------	--

	
日本画体験教室の様子	調理実習の様子

様式1

No	15	粕川公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	少年教室	展示	移動博物館で恐竜の化石を見よう（※）	実10152735 報10212991		
2	少年教室	実習	まが玉づくり教室	実10304485 報10356504		
3	少年教室	実習	書き初め教室	実10185309 報10372218	○	

様式2-1

【事業の概要】

No	15	粕川公民館			経費	—		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動				講座区分	少年教室		
講座名	粕川公民館移 群馬県立自然史博物館共催事業「移動博物館で恐竜の化石を見よう」							
ねらい	① 本物の恐竜の化石など貴重な資料に触れる体験の場を設け、こどもたちの学びのへのきっかけ作りとする。 ② 同じ興味を持つ小中学生と一緒にワークショップに取り組むことで、学年を越えた児童、生徒間の交流を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（タブレット配信）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	6月29日(土)		群馬県立自然史博物館所蔵の恐竜化石（本物、レプリカ）、動物はく製等約100点を展示。粕川地区の小中学生を対象としたワークショップ「暗闇で光るアンモナイトづくり」を同時開催。（午前・午後各1回 定員各回10名）			—	—	
	10:00	15:30				群馬県立自然史博物館 職員・解説ボランティア		
		200						
2	6月30日(日)		群馬県立自然史博物館所蔵の恐竜化石（本物、レプリカ）、動物はく製等約100点を展示。粕川地区の小中学生を対象としたワークショップ「モササウルスの歯の化石レプリカづくり」を同時開催。（午前・午後各1回 定員各回10名）			—	—	
	10:00	15:30				群馬県立自然史博物館 職員・解説ボランティア		
		200						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	ネットなどの情報に頼りがちな現代において、本物に触れることは重要
地域のニーズにこたえているか	○	当該博物館から遠方にあるため、身近な公民館で開催できた意義は大きい
企画・事前準備は十分であったか	○	県立自然史博物館担当職員と緊密に連絡、調整を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	展示会場、ワークショップ共に盛況であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	本物に触れる学びを参加者は感じ取っていたと思う
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	市HPやタブレット配信のほか、県立自然史博物館HPや冊子等で周知

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	貴重な資料を間近に観察できる機会は大変有意義であった。展示会場には解説員が常駐しており、こどもたちの素朴な疑問や質問に丁寧な対応ができたと思う。また、ワークショップに参加したこどもたちは、講師の説明を真剣に聞き工作に取り組んでいた。来場者の構成をみると、比較的低学年の児童や園児が多く、小学校高学年や中学生は少なかった。	
改善点	ワークショップが好評であったことから分かりますとおり、工作系講座のニーズは高いと思われる。小学生、中学生の興味を引く企画作りに努める。	

次年度の事業継続の評価	廃止	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	群馬県立自然史博物館との共催事業のため	

留意事項等 その他	
--------------	--



ワークショップで講師の説明を聞く様子



恐竜化石等展示会場の様子

様式 1

No	16	富士見公民館	事業名	青少年体験・チャレンジ活動		
	講座区分		学習方法	講座名	管理番号	補
1	少年教室		実習 体験	夏休みこどもチャレンジ教室 わくわくサイエンス教室	実10144731 報10236555	
2	少年教室		実習 体験	夏休みこどもチャレンジ教室 親子自然体験教室	実10144731 報10236555	
3	少年教室		講義 体験	夏休みこどもチャレンジ教室 宿題おたすけ教室（絵画）	実10144731 報10236555	
4	少年教室		講義 体験	夏休みこどもチャレンジ教室 プログラミング体験教室（入門編）	実10144731 報10236555	
5	少年教室		講義 体験	夏休みこどもチャレンジ教室 プログラミング体験教室（応用編）	実10144731 報10236555	
6	少年教室		実習 体験	夏休みこどもチャレンジ教室 料理教室	実10144731 報10236555	
7	少年教室		実習 体験	親子でeスポーツ体験教室	実10223726 報10295769	
8	少年教室		実習 体験	親子で座禅体験教室（※）	実10200745 報10306839	
9	少年教室		実習 体験	冬のこどもチャレンジ教室 親子星空観察教室	実10200838 報10336099	
10	少年教室		実習 体験	冬のこどもチャレンジ教室 親子お菓子づくり教室	実10200838 報10336099	
11						
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	16	富士見公民館		経費	6,000円		
事業名	青少年体験・チャレンジ活動			講座区分	少年教室		
講座名	富士見公民館親子で座禅体験教室						
ねらい	① 学校や学年が異なる集団の中で相互交流を図る ② 親子で一緒に体験することで座禅の目的や意味など学ぶ機会づくりとする ③ 地域の方を講師にすることで、地域の世代間交流を図る ④ 珊瑚寺を会場とすることで地域資源の活用及び再認識を図る						
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☒ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（すぐーる）			
回	月日		学習主題・内容	講師謝礼金額		実費負担金額	
	開始 定員	終了 参加者		講師名			
1	11月17日(日)		親子で座禅体験教室	6,000円	—		
	08:00	09:00	石井山珊瑚寺 内田堯重住職				
	15組	23					
2							
3							
4							
5							
6							
7							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	興味がありながらも個人では参加しにくい内容であるため、公民館講座とすることで参加しやすい環境を提供出来たと思われる
地域のニーズにこたえているか	○	定員に達したこととアンケート結果からも良好のためニーズに答えられたかと思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	滞りなく教室運営が出来たことから十分であったと思われる
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果からも概ね満足度の高い内容であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	地域資源を活用したことで珊瑚寺や公民館事業に興味を持てただけことから多少なりとも学習成果を地域に還元できたかと思われる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	定員に達したことから周知活動は行えたと思われる

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	これまで人材以外の地域資源の活用がなかったため企画した教室。教室終了後、境内を散策するグループや、このような講座はいつやっているのか、珊瑚寺で除夜の鐘をつくのは何時からかなどの問い合わせがあったことから、多少なりとも地域資源や公民館講座のPRに繋がられたかと思われる。	
改善点	体調不良等により前日6名、当日6名の計12名のキャンセルが出たため、開催時期によってはキャンセル待ちの募集を行う必要あり。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	募集開始当日に定員に達したことから需要のある講座ということが伺える。今後も出来る限り地域資源を活用した講座を企画していきたい。	

留意事項等	
-------	--

	
座禅体験教室①	座禅体験教室②